SONY

3-754-128-**02**(3)

マイクロカセット™ ディクテーター／トランスクライバー

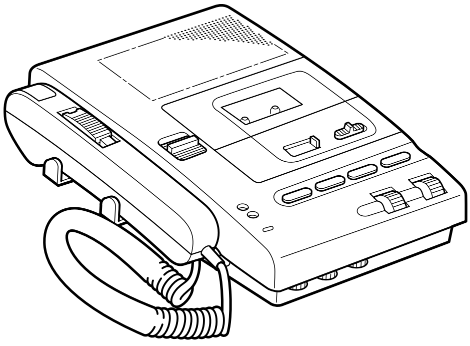
（口述録音機／再生書き取り機）

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



M-2020

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4~6ページの注意事項をよくお読みください。
製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



❶ 電源を切る
❷ ACパワーアダプターをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



ご使用になる前に

電源について

DC 9V で動作します。付属のACパワーアダプターを電源コンセント（100V）につないでご使用ください。付属のACパワーアダプターは国内用ですので海外ではご使用になれません。
ACパワーアダプターを長時間コンセントにつないでいると、ACパワーアダプターが暖かくなりますが、故障ではありません。

録音について

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ディクテーター/トランスクライバーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

目次

⚠警告・⚠注意 4

はじめに

主な特長 7
操作の流れ 8

準備

電源の接続 10
操作を始める前に 10

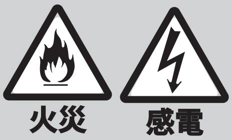
操作

口述録音する 12
録音する 13
再生書き取りをする 14

その他

故障かな？と思ったら 17
アラームについて 17
お手入れ 18
主な仕様 18
各部のなまえと働き 19
保証書とアフターサービス .... 裏表紙

⚠警告



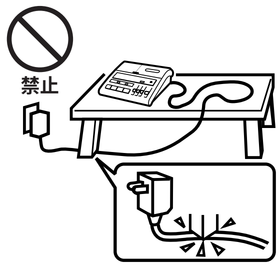
下記の注意を守らないと火災・感電により大けがの原因となります。

内部に水や異物を入れない



水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ACパワーアダプターのコードを傷つけない



電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- ACパワーアダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに必ずアダプター本体を持って抜いてください。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

海外では使用しない



付属のACパワーアダプターは、日本国内専用です。
交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



ACパワーアダプターやコードに触れないでください。感電の原因となります。

指定以外のACパワーアダプターなどを使わない

破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

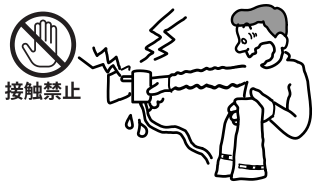


火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

⚠注意 下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。



大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



はじめからボリュームを上げすぎない

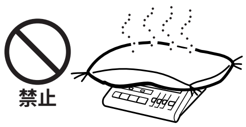
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



内部を開けない



感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

安定した場所に置く



ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所の強度も充分にお確かめください。

移動させるとき、旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のためACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

ACパワーアダプターの電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

主な特長

ソニーM-2020は、いろいろな情報をいったんテープに録音し、あとでその録音内容を聞きながらワープロに入力したり、タイプアップしたりするためのディクテーター（口述録音機）／トランスクライバー（再生書き取り機）です。

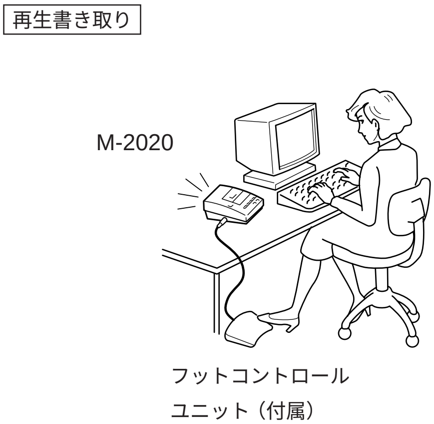
ディクテーター（口述録音機）としてお使いになるとき

- 付属のハンドコントロールユニットをお使いになると、お手元の操作レバーだけでほとんどの操作を行うことができます。聞き返しや訂正も容易にできます。
- 操作ミスをすぐに知らせるアラーム機能が用意されています。操作を間違えるとアラーム音が出ます。（17ページ）
- 録音中の音をモニターすることができます。付属のヘッドホンをお使いください。（13、16ページ）
- 電話での会話を録音することができます。別売りのソニーテレホン録音アダプターTL-4をお使いください。（13ページ）



トランスクライバー（再生書き取り機）としてお使いになるとき

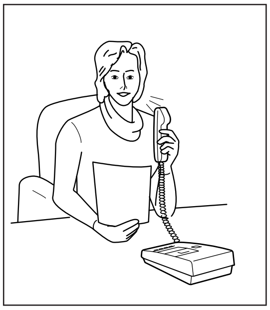
- 付属のフットコントロールユニットをお使いになると、リモコン操作をしながら再生書き取りをすることができます。また、テープを止めるたびに、その前に再生した終わりの部分の少し手前まで自動的に巻き戻すオートバックスペース機能を使うこともできます。前の文章の終わりの数語を反復できるので、抜けのない書き取りができます。（15ページ）
- テープ速度調節機能で再生時のテープ速度を速めたり遅めたりできます。（15ページ）



操作の流れ

（　）内のページに説明があります。

口述録音



ACパワーアダプター（付属）を本機と電源コンセントに接続します。(10)

↓

ハンドコントロールユニット（付属）を接続します。(10)

↓

カセットを入れます。(11)

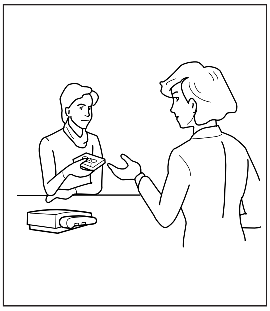
↓

SPEEDセレクターでテープ速度を選びます。(12)

↓

ハンドコントロールユニットの操作レバーをRECにし、マイクに向かって話します。

↓



ハンドコントロールユニットの操作レバーをSTOPにします。

↓

カセットを取り出します。

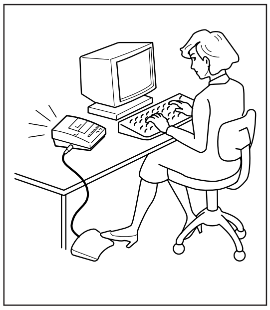
↓

タイピストにカセットを渡します。

↓

再生書き取り

↓



本機からハンドコントロールユニットをはずして、代わりにフットコントロールユニット（付属）を接続します。(10)

↓

カセットを入れます。(11)

↓

SPEEDセレクターを録音時のテープ速度に合わせます。(14)

↓

フットコントロールユニットの右側を踏みます。

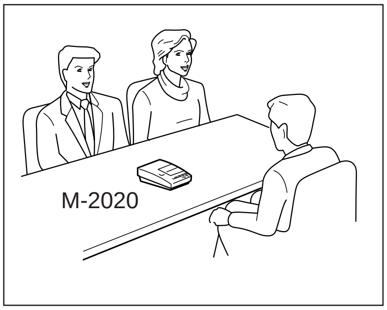
↓

音量、音質を調節します。

↓

書き取りが終わったら、ペダルから足を離してテープを止めます。

内蔵マイクでの録音



ACパワーアダプター（付属）を本機と電源コンセントに接続します。(10)

↓

カセットを入れます。(11)

↓

SPEED セレクターで テープ速度を選びます。

↓

録音スイッチをRECにし、本機に向かって話します。

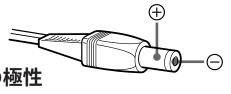
↓

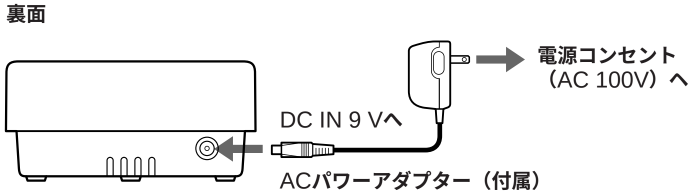
録音が終わったら、録音スイッチをSTOPにします。

電源の接続

ご注意

この製品には、付属のACパワーアダプターをご使用ください。それ以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

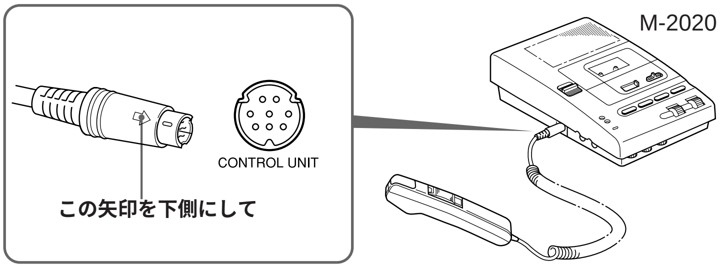




操作を始める前に

ハンドコントロールユニット(付属)を接続する

操作については、「口述録音する」（12ページ）をご覧ください。

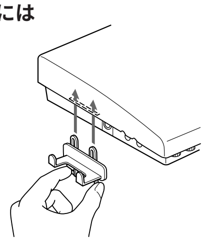


マイク台（ハンドコントロールユニットに付属）を取り付けるには

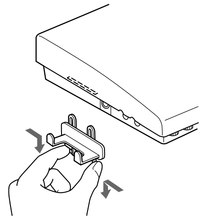
M-2020本体の左側に取り付けます。ハンドコントロールユニットをお使いにならないときは、マイク台にのせておきます。

図のように、本体側面の溝にカチッと音がするまで差し込みます。

取り付けるには

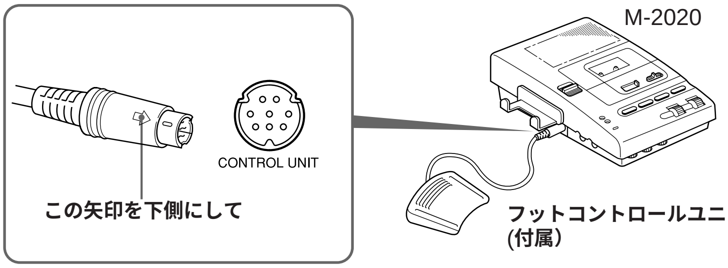


取りはずすには

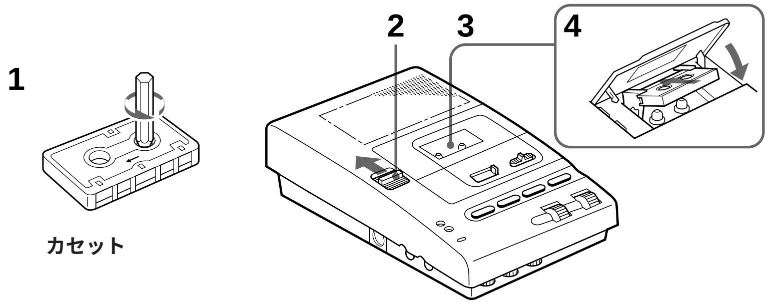


フットコントロールユニット(付属)を接続する

操作については、「再生書き取りをする」（14〜16ページ）をご覧ください。



カセットを入れる



1 **鉛筆などで、テープのたるみを取ります。**

2 **カセット取り出しボタンを矢印の方向にスライドさせて、カセットホルダーを開けます。**

3 **カセットを録音または再生したい面を上にしてホルダーの中に入れます。**

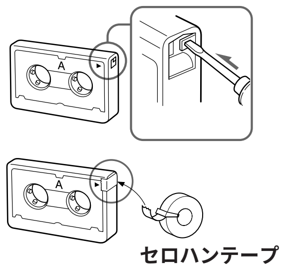
4 **カセットホルダーを閉めます。**

カセットテープについて

大切な録音を消さないために

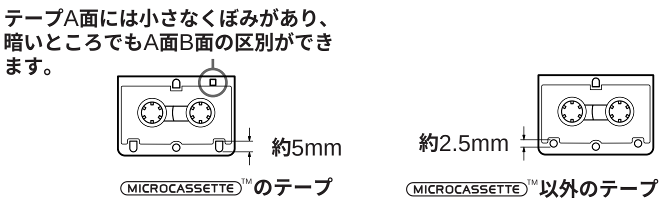
録音済みのテープに新しい録音をすると、前の音は自動的に消されて、新しい音が録音されます。

大切な録音をうっかり消してしまわないためには、
カセットについているツメを折っておきます。
もう一度テープを使うには、セロハンテープで穴をふさぎます。図に示された部分以外にはセロハンテープや紙を貼らないでください。
カセットに厚みができ、本機が正常に動かなくなる場合があります。



磁気があるところ(テレビ、スピーカーボックスのそばなど)に置かないで下さい。大切な録音が消えたり雑音が入る原因になります。

カセットテープはMICROCASSETTE™の表示があるものをご使用ください。この表示のないテープは、このマイクロカセットコーダーでは使用できない場合があります。



口述録音する

口述録音するときは、付属のハンドコントロールユニットをお使いください。接続については10ページをご覧ください。

ご注意

録音中にハンドコントロールユニットを本機に近づけると、雑音が録音されることがあります。その場合、ハンドコントロールユニットを本機から離してください。

手際よく口述録音するには

録音を始める前に

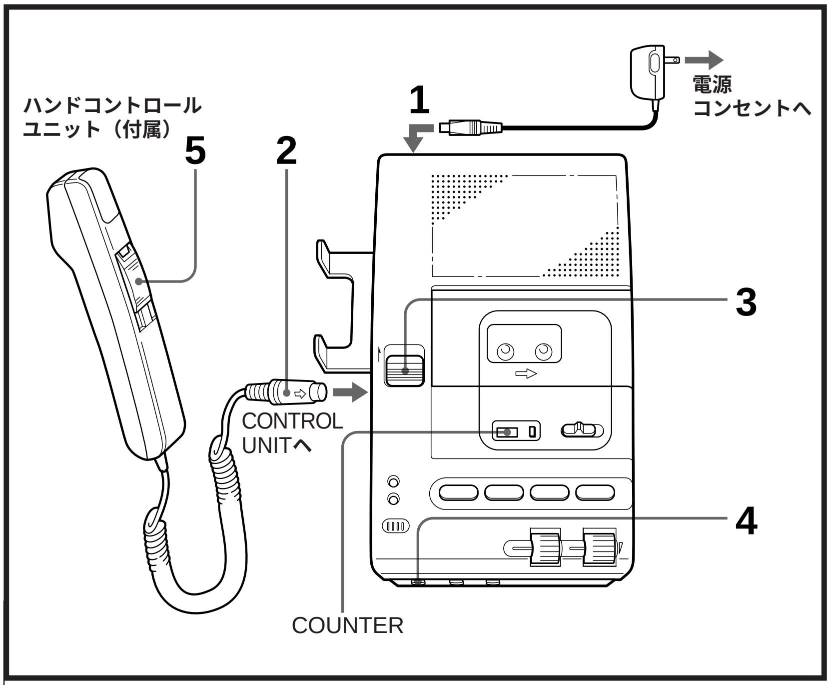
- 録音する内容を整理しておきましょう。
  大まかな内容を書き出しておくことをおすすめします。
- カセットが新しいものか、前の録音が全部消去されているかを確認しましょう。

録音の初めに

- 誰が録音したのかわかるようにしておきましょう。あなたの氏名、所属、電話番号などを明確にしてください。
- 録音の目的がわかるように指示しておきましょう。例えば連絡書であるとか、手紙であるとか・・・。
- 書き取った後の書類をどのようにすべきか（必要なコピーの部数など）、タイピストへ細かな指示を与えてください。
- 宛先、配布先などを明確に指示してください。

録音中には

- ゆっくりと、聞き取りやすい発音で話してください。
- 文書は短く、話は手短かにしましょう。
- 必ず自分で聞き返し、間違いは訂正しておきましょう。
- 句読点も読みあげましょう。
- 個人名、地名など特殊な文字、わかりにくい文字はきちんと指示しましょう。



1 **ACパワーアダプター(付属)を本機と電源コンセントに接続します。**

2 **ハンドコントロールユニット（付属）を本機に接続します。**

3 **カセットを入れます。（11ページ）**
テープカウンターのRESETボタンを押してカウンターを0に戻します。

4 **SPEED セレクターを2.4 (cm/s)または1.2 (cm/s)に合わせます。**
「録音時間について」（下記）を参照してください。

5 **ハンドコントロールユニットの操作レバーをRECに合わせます。**

録音を止めるには

操作レバーをSTOPにします。

口述録音を終えたら

テープを巻き戻さずに、そのままタイピストに渡してください。

録音時間について

マイクロカセット™MC-60の両面の録音可能時間は、SPEEDセレクターが2.4 (cm/s)のとき60分、1.2(cm/s)のとき120分です。

口述録音中、音声モニターをするには

付属のヘッドホンをEARジャックに接続すると、録音中の音声を聞くことができます。音量はVOLUMEつまみで調節してください。

聞き返し機能を使うには

口述録音したばかりの内容をすぐ聞き返して､間違いがあればすぐに訂正することができます。

1 ハンドコントロールユニットの操作レバーをREW側に押し続けて、テープを巻き戻します。**2** 操作レバーを離し、再生書き取り状態にします。**3** 聞き終わったら、操作レバーをRECにして口述録音を続けます。再生中に、訂正したい部分があればその部分の頭まで巻き戻し、すぐに操作レバーをRECにして訂正します。

録音する

口述録音のほかに、本機の内臓マイクで録音したり、外部マイクをつないで録音することもできます。また、電話を録音することもできます。

内蔵マイクで録音する

1 AC パワーアダプターを接続し、カセットを入れ、SPEEDセレクターを設定します。

2 録音スイッチをRECに合わせます。録音レベルを調節する必要はありません。
録音を止めるには、録音スイッチをSTOPにします。

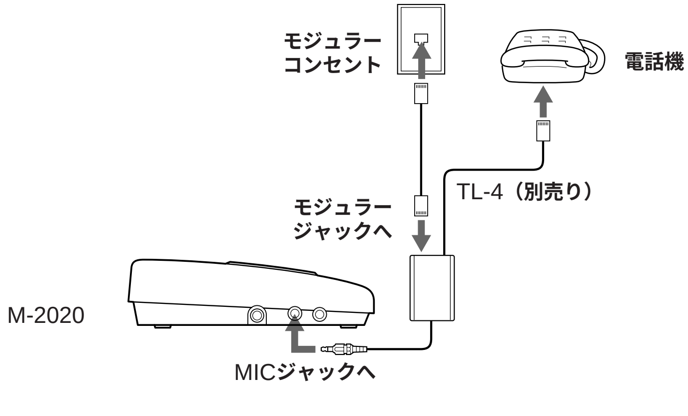
外部マイクで録音する

よりよい音で録音したいときは、別売りのマイクロホンを本機側面のMICジャックにつないで録音することをおすすめします。

電話を録音する

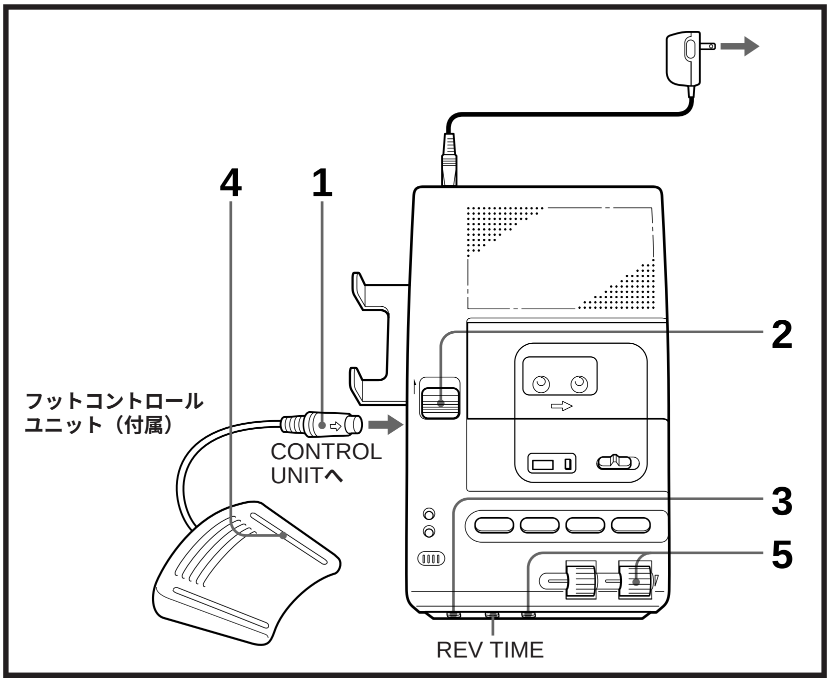
別売りのソニーテレホン録音アダプターTL-4*を本機側面のMICジャックに接続します。詳しくはTL-4の取扱説明書をご覧ください。

* 電話機の形状によっては、TL-4をご使用になれない場合があります。



再生書き取りをする

再生書き取りをするには付属のフットコントロールユニットを使うと便利です。
接続については10ページをご覧ください。



1 ハンドコントロールユニット（付属）をはずして、フットコントロールユニット（付属）を接続します。

2 カセットを入れます。（11ページ）

3 SPEEDセレクターを録音のときと同じ速度位置に合わせます。

4 フットコントロールユニットのペダルの右側を踏んで再生書き取りを始めます。

5 VOLUMEつまみとTONEつまみで音量、音質を調節します。

テープを止めるには

フットコントロールユニットのペダルから足を離します。

テープを巻き戻すには

フットコントロールユニットのペダルの左側を踏みます。

テープ速度調節機能

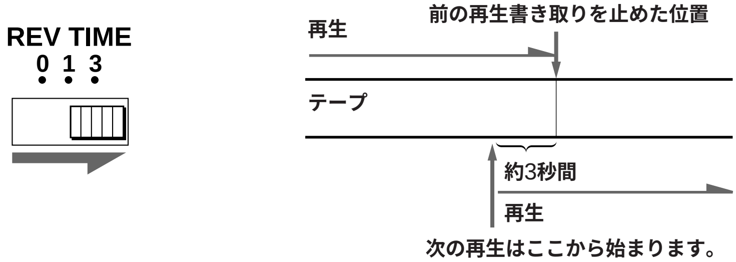
SPEED CONTROLつまみでテープ速度を調節することができます。
SPEED CONTROLつまみを中央にカチッと合わせると、通常の再生速度になります。

オートバックスペース（自動後戻り）機能（リバースタイムの調節）

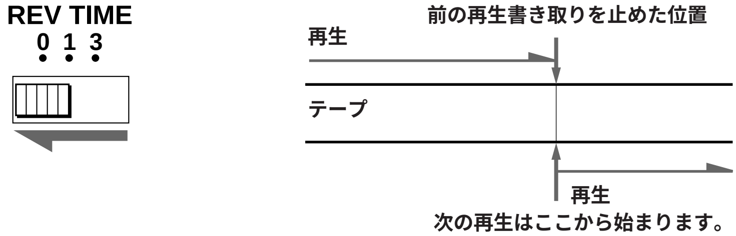
この機能はフットコントロールユニット（付属）を使用しているときにのみ働きます。
通常のテープ再生では、テープを停止させて次に同じ所から再生を始めると、初めの部分が再生されず文章が正確につながらない場合があります。
オートバックスペース機能を使うと、フットコントロールユニットのペダルから足をはずすたびに、テープは自動的に少し巻き戻されて止まります。したがって、次に再生するときに前に聞いた部分を確認でき、正確な書き取りができます。
REV(reverse)TIMEコントロールつまみが0に設定されているときには、テープは巻き戻されないで止まります。（通常の停止）
REV TIMEコントロールつまみが1の位置のときには、テープは約1秒間巻き戻されます。次回再生するときに、約1秒前に書き取った部分から再生されます。REV TIMEコントロールつまみが3の位置のときには、テープは約3秒間巻き戻されます。次回再生するときに、約3秒前に書き取った部分から再生されます。

REV TIMEつまみを設定してから、フットコントロールユニットのペダルの右側を踏みます。

REV TIME : 3**に設定すると**



REV TIME : 0**に設定すると**



次のページにつづく

テープを操作するには(基本的なテープ走行方法)

テープ走行の操作は、本機およびハンドコントロールユニット(付属)、フットコントロールユニット(付属)でもできます。ただし、テープの走行を始めてから停止するまで、同じ機器で行ってください。例えば、ハンドコントロールユニットで再生を始めた場合、本機で再生を止めることはできません。この場合ハンドコントロールユニットの操作レバーをSTOPにして再生を止めてください。

操作	M-2020で操作する場合	ハンドコントロールユニットで操作する場合	フットコントロールユニットで操作する場合
巻き戻しするには	◀◀ REWを押す。	操作レバーをREW側に押し続ける。	ペダルの左側を踏む。
テープを止めるには	■ STOPを押す。	操作レバーをSTOPにする。	ペダルから足を離す。
再生書き取りするには	▶ PLAYを押す。	操作レバーをPLAYにする。	ペダルの右側を踏む。
早送りするには	▶▶ FFを押す。	—	—

ヘッドホンをつないで聞くには

周囲の人を妨げず、また逆に、周囲の音にわずらわされずに再生書き取りをしたいときには、ヘッドホン（付属）をEARジャックに接続します。スピーカーからの音は切れます。

故障かな？と思ったら

マイクロカセット™ディクテーター／トランスクライバーの調子がどうもおかしい・・・そんなとき、サービス窓口にご相談になる前に、もう一度チェックしてみましょう。案外、簡単なミスや勘違いをしていたり、ちょっとしたお手入れで直ることが多いものです。

本機が動作しない。

- ACパワーアダプターがはずれている。→ 本体と電源コンセントにしっかり差し込む。

内蔵スピーカーから音が出ない。

- VOLUMEつまみが「0」になっている。
- ヘッドホンが接続されている。→ ヘッドホンを抜き取る。

テープ速度が速すぎる、または遅すぎる。

- SPEEDセレクターが正しい位置になっていない。→ 正しい位置にする。
- SPEED CONTROLつまみが正しい位置になっていない。→ 調節する。

再生中または早送りや巻き戻し中にテープが停止し、アラーム音が鳴る。

- テープが全部巻き取られている。→ テープを巻き戻す。

アラームが鳴って録音機能が働かない。

- テープが全部巻き取られている。→ テープを巻き戻す。
- カセットのつめが折れている。→ カセットのつめをふさぐ。（11ページ）

音飛び、高音が切れる、雑音が多い。

- ヘッドが汚れている。→ 「お手入れ」（18ページ）をご覧ください。

完全に消去できない。

- 消去ヘッドが汚れている。→ 「お手入れ」（18ページ）をご覧ください。

ヘッドホンから音が聞こえない。

- VOLUMEつまみが「0」になっている。
- ヘッドホンがしっかり差し込まれていない。

ハンドコントロールユニットまたはフットコントロールユニットを操作してもテープがよく動かない。

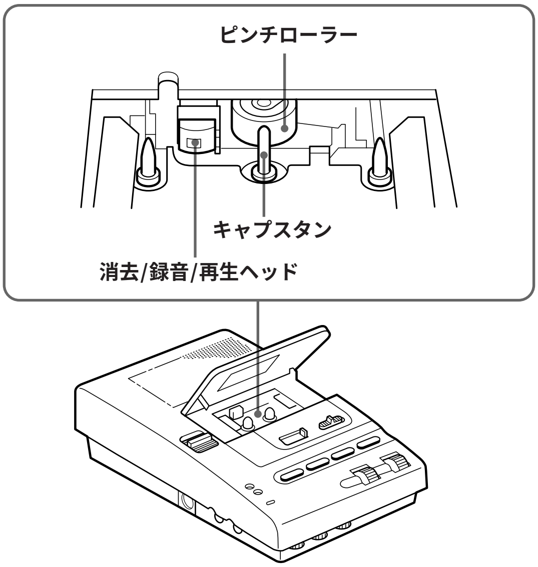
- ハンドコントロールユニットまたはフットコントロールユニットのプラグがコントロールコネクターにしっかりと差し込まれていない。（10ページ）
- テープ操作を本機で行った。→ 本機の■ STOPボタンでテープを停止させてから、ハンドコントロールユニットまたはフットコントロールユニットで操作する。

アラームについて

以下のような場合、アラーム音が鳴ります。

アラーム症状	原因	アラームを解除するには
録音しようとすると → アラーム音「ピーッ」が鳴ります。	• カセットが入っていない。 • カセットのつめが折れている。	本体の録音スイッチまたはハンドコントロールユニットの操作レバーをSTOPにしてから • カセットを入れる。 • 別のカセットを入れる。またはつめをふさぐ。
本機がシャットオフして → アラーム音「ピーッ」が鳴ります。	• テープが全部巻き取られている。	• テープを巻き戻す。

お手入れ



ヘッド部のクリーニング

ヘッドの汚れがひどくなると、音が悪い、音が小さい、音がとぎれる、前の音が消えないで残る、録音ができない、などの症状が出ますので、およそ10時間使うごとにクリーニングするように心がけてください。►PLAYボタンを押した状態でヘッドとキャプスタン、ピンチローラーを別売りのクリーニングキットKK-41などできれいにしてください。

クリーニングを行う前に電源を切り、ACパワーアダプターをはずします。

市販の綿棒をクリーニング液または純アルコール液でしめらせて、ヘッドやキャプスタン、ピンチローラーをふきます。ピンチローラーやキャプスタンは一回りぐるりとふいてください。

キャビネットのクリーニング

柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布でふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

ヘッド部の消磁

長い間使っていると、テープのあたる金属部分やヘッド部が磁化され、ザーという雑音が増えたり高音が消されたりすることがあります。ヘッドやテープのあたる金属部分は、20〜30時間使うごとにヘッド消磁器HE-4（別売り）などで消磁してください。

主な仕様

使用テープ
MICROCASSETTE™(ノーマルポジションタイプ)

トラック方式
マイクロカセット　2トラック1チャンネルモノラル

テープ速度
2.4cm/s、1.2cm/sのスピード切り換え式

テープ速度調節
–10%〜+40%

オートバックスペース
約0/1/3秒

周波数範囲
250〜4,000Hz(2.4cm/s)

スピーカー
直径：約5cm

最大出力
300mW

入出力端子
マイク(ミニジャック／プラグインパワー対応)(1)
最小入力レベル　0.3mV
インピーダンス　3 kΩ以下のマイク用
イヤホン(ミニジャック)(1)
負荷インピーダンス　8〜300Ω
CONTROL UNIT(1)

電源
DC IN 9Vジャック(定格9V)
ACパワーアダプター（付属）を接続してAC 100V電源から使用可能。

消費電力
11 VA (付属のACパワーアダプター使用時)

最大外形寸法
約133× 61.5 × 230 mm(幅／高さ／奥行き)
最大突起部含む

質量
約0.8kg(本体のみ)

付属品
ACパワーアダプター(1)
フットコントロールユニット(1)
ハンドコントロールユニット(1)
モノラルヘッドホン(1)
マイク台(1)
取扱説明書(1)
ソニーご相談窓口のご案内(1)
保証書(1)

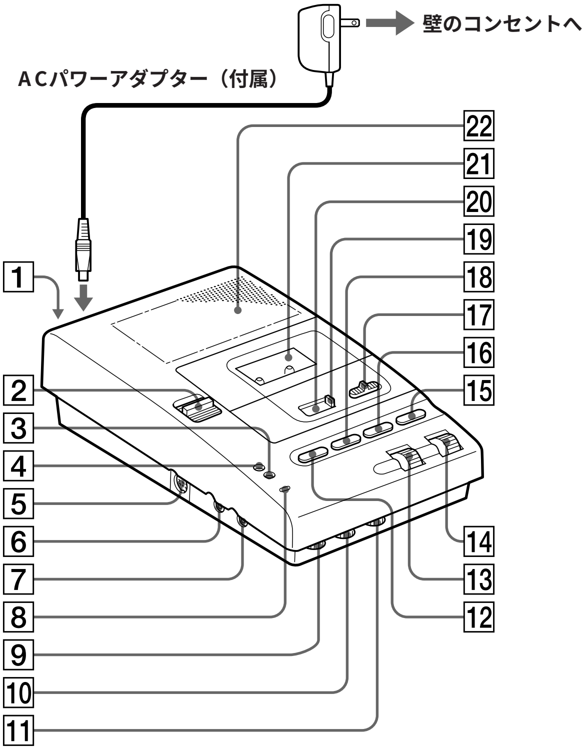
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー
マイクロカセット　MC-30、MC-60
テレホン録音アダプター　TL-4
ヘッド消磁器　HE-4

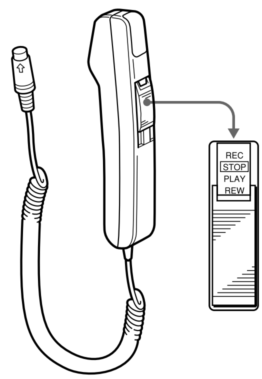
テープもソニー製品をおすすめします。
電話機の形状によっては、TL-4をご使用になれない場合があります。

各部のなまえと働き

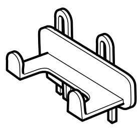
（　）内のページに説明があります。



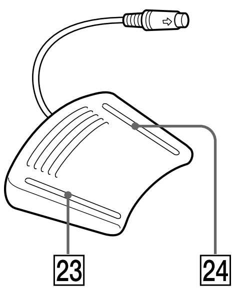
ハンドコントロールユニット（付属）



マイク台（付属）



フットコントロールユニット（付属）



1 DC IN 9 V(外部電源)ジャック(10)

2 ⏏カセット取り出しつまみ
　つまみをスライドさせてカセットホルダーを開け、カセットを取り出します。

3 OPRランプ
　テープ操作中点灯します。

4 REC(録音)ランプ
　録音中点灯します

5 CONTROL UNITコネクター(10)

6 MIC（外部マイクロホン）(PLUG IN POWER)ジャック(13)

7 EAR(earphone)ジャック(13、16)

8 MIC（内蔵マイク）

9 SPEEDセレクター(12、14)
　2.4cm: MC-60マイクロカセットテープの両面に約60分間録音できます。このテープ速度は最適な音を生みだすので、通常はこの位置をおすすめします。
　1.2cm: MC-60マイクロカセットテープの両面に約120分間録音できます。

10 REV(reverse) TIME（オートバックスペース）つまみ(15)

11 TONE(音質)つまみ(14)
　高音部を強調するには「HIGH」側へスライドさせ、高音部を弱めるには「LOW」側へスライドさせます。

12 ◀◀ REW(巻き戻し)ボタン

13 SPEED CONTROL (テープ速度調節）つまみ(15)

14 VOLUME(音量)つまみ

15 ▶▶ FF(早送り)ボタン

16 ▶ PLAY(再生)ボタン

17 録音(STOP/REC)スイッチ(13)

18 ■ STOP(停止)ボタン

19 RESETボタン(12)
　このボタンを押してテープカウンターを「0」に戻します。

20 COUNTER(テープカウンター)

21 カセットホルダー

22 内蔵スピーカー

フットコントロールユニット

23 巻き戻しペダル

24 再生ペダル

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービス窓口へ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間の経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではテープレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
- **型名**：M-2020
- **故障の原因**：できるだけ詳しく
- **購入年月日**：

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル……………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
● Fax ………………………………… 0466-31-2595

受付時間：
月〜金
9:00〜20:00
土・日・祝日
9:00〜17:00

Printed in Japan